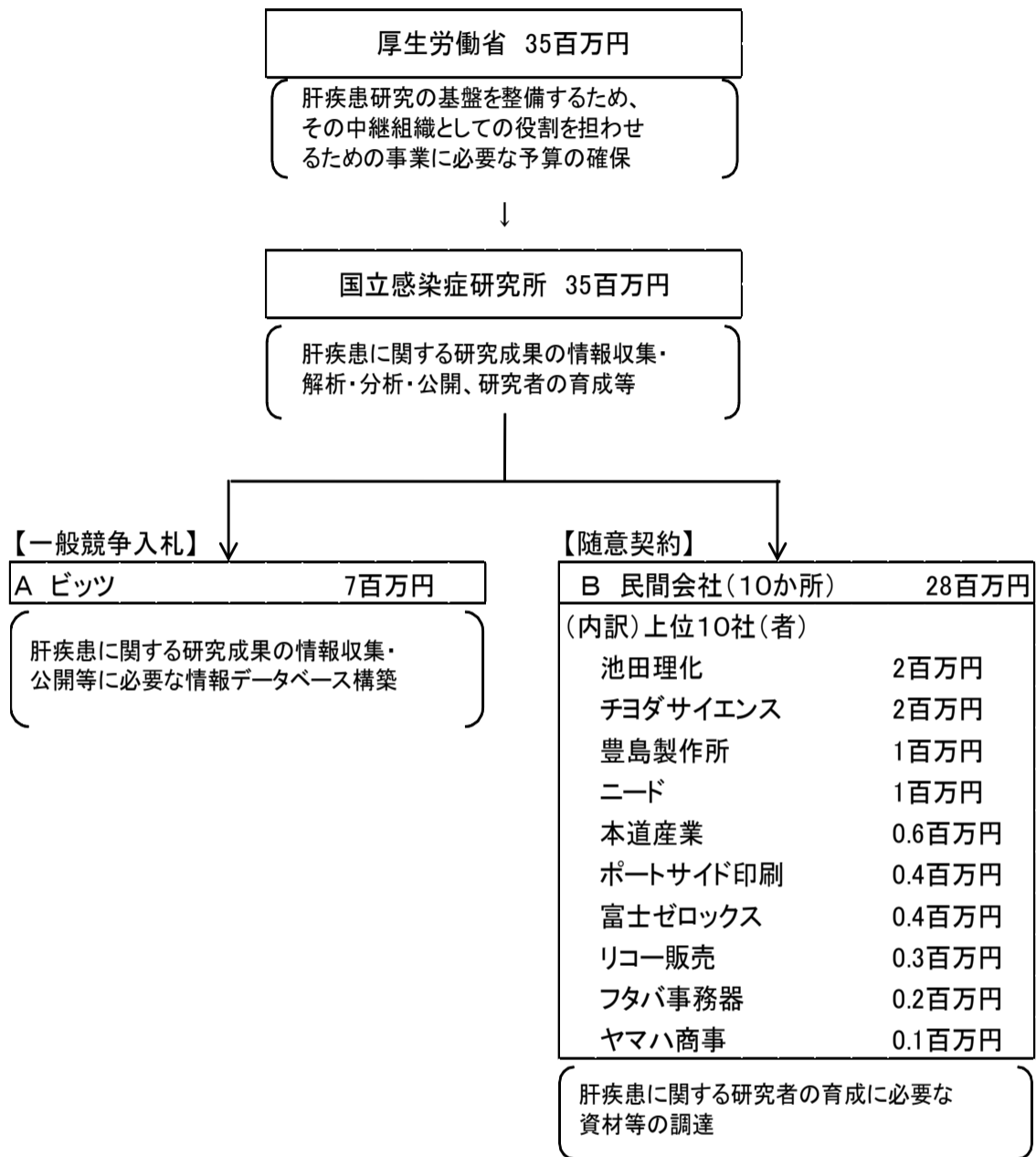


行政事業レビューシート (厚生労働省)

予算事業名	肝炎研究基盤整備事業	事業開始年度	平成21年度	作成責任者		
担当部局庁	健康局	担当課室	疾病対策課肝炎対策推進室	肝炎対策推進室 伯野 春彦		
会計区分	一般会計	上位政策	-			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	肝炎対策基本法 第18条第1項及び第2項	関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	平成20年度に開催された「肝炎治療戦略会議」で、「肝炎研究7カ年戦略」が取りまとめられ、その中で国立感染症研究所は、我が国における肝炎研究の基盤整備を図るための中核的組織と位置づけられている。肝疾患研究については、各地の研究施設等で、それぞれ独自に行われ、研究の重複や必要な研究への取組不足などの問題が生じている状況にかんがみ、本事業により、研究成果の情報収集・解析や研究者の育成等を行い、研究基盤の整備を図る。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	国立感染症研究所において、研究成果の情報収集・解析・公開、研究者の育成等を行う。 ・ ウイルス肝炎データベースの構築 ・ 若手研究者育成研修の実施 ・ 肝炎に関する研究情報収集及び研究者や専門医を対象とした情報の発信					
実施状況	ウイルス肝炎データベースの構築(平成22年度から順次運用) 若手研究者を対象とした研修会の実施 5回/年 セミナーの実施 5回/年 国立感染症研究所ホームページからの情報提供(通年)					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)			46	36	37
	執行額			35		
	執行率			76.1%		
	総事業費(執行ベース)			35		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	事業実施年度終了後に、執行状況の報告を求めることにより把握。				
	見直しの余地	肝炎対策関係事業については、肝炎対策基本法の施行及び、今後、肝炎対策推進協議会の意見を聴きつつ策定される肝炎対策基本指針を踏まえ、肝炎対策予算の拡充を図る必要がある。				
予算チームの監視・所見率化	肝炎研究基盤整備事業については、肝炎対策基本法に基づく必要な事業であるが、引き続き適切な予算執行に努めること。					
補記						

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
行っているかについて補  
足する)  
(単位:百万円)



費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の  
 金額が支出されている者について記載す  
 る。使途と費目の双方で実情  
 が分かるように記載)

A. ビッツ			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	ウイルス性肝炎研究情報データベース構築請負	6			
その他	データベース用サーバ等	1			
計		7	計		0
B. 池田理化			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
消耗品費	研究用消耗品	1			
備品費	研究用機器	1			
計		2	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

厚生労働省 35百万円

肝疾患研究の基盤を整備するため、  
その中継組織としての役割を担わせる  
ための事業に必要な予算の確保



国立感染症研究所 35百万円

肝疾患に関する研究成果の情報収集・  
解析・分析・公開、研究者の育成等

【一般競争入札】 ↓

A ビッツ 7百万円

肝疾患に関する研究成果の情報収集・  
公開等に必要な情報データベース構築

【随意契約】 ↓

B 民間会社(10か所) 28百万円

(内訳)上位10社(者)

池田理化	2百万円
チヨダサイエンス	2百万円
豊島製作所	1百万円
ニード	1百万円
本道産業	0.6百万円
ポートサイド印刷	0.4百万円
富士ゼロックス	0.4百万円
リコー販売	0.3百万円
フタバ事務器	0.2百万円
ヤマハ商事	0.1百万円

肝疾患に関する研究者の育成に必要な  
資材等の調達